

九州情報大学が育成をめざす教員志望の学生像

大学の教員養成は、学部・学科での学びと教職課程の学びから成り立っています。

九州情報大学では、経営情報学部での学びと教職課程での学びを通して、幅広い教養と高い専門的知識・技術を身につけ、教員にふさわしい資質・能力を高めるとともに、豊かな人間性を兼ね備えた教員志望の学生を育成することを目指しています。

本学の求める教員像

情報に関する高い知識と技術を身につけ、社会の変化にも対応できる視野の広さをもって生徒の指導に真摯に当たり、同僚とも協調して共に教育の営みに携わることのできる人間性豊かな教師。

具体的プログラムとしては、

①

基礎総合科目の学習を通して、社会の変化に対応できる基礎的・基本的な知識・技術をはじめ、教員をめざすものにふさわしい幅広い教養を身につけます。

学部・学科の専門教育科目の学習を通して、「情報科」の担当教員にふさわしい専門的知識・技術とその応用力を育成します。

教職課程の学習を通して、生徒に対する理解と愛情、教育への意欲と情熱を培います。

②

大学及び地域でのゼミ・演習活動や部活動、ボランティア活動など、さまざまな活動へ積極的に参加していくことを通して、豊かな心とコミュニケーション能力などの社会性を養います。

③

これらの学びを通して、今日の学校、教育を取り巻く社会的な期待や問題を理解し、それらに積極的に取り組み、解決しようとする主体的な意欲や態度、能力を育みます。

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組み

大学での教員養成を通して「教員として最小限必要な資質能力」を確実に身につけさせるために、「教職課程 履修カルテ」を活用し、これまでの学習経験を振り返り課題を明確にさせ、今後の学習経験へとつながる指導をしていきます。

また、教員に期待され要請される幅広い資質能力を培うために、自主活動や地域活動などに積極的に取り組ませることで、主体性と人間性の育成を目指します。